

➤ 新科目「情報Ⅰ」を見据えた「モデル化とシミュレーション」の授業実践報告
～artisocを用いて～

間辺 広樹（神奈川県立柏陽高等学校，東海大学）

令和4年より高等学校にて必修科目となる情報科新科目「情報Ⅰ」では、情報の科学的理解が重視されると共に、従来と比べて高度な学習内容を扱うことが求められる。学習分野「モデル化とシミュレーション」についても、学習指導要領には「社会や自然などにおける事象をモデル化する方法やシミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解させる」などの高い目標が明記されている。そこで、株式会社構造計画研究所より artisoc と「分居モデル」等のプリント教材の提供を受けて、モデル化やシミュレーションの意義を体験的に理解させる授業を行った。本稿では、3 コマという短い時間で行った授業の様子と、得られた学習効果を述べ、「情報Ⅰ」における artisoc の活用を提案する。